

たつのまち
議会
だより No.92



令和5年12月定例会開催

特集 中学生議会2023開催 ②
タウンミーティング開催 ⑤

11月臨時会・12月定例会報告

委員会レポート

議員研修レポート

一般質問

町民の声

⑥

⑧

⑨

⑩

⑬

辰野町議会



ホームページ





2023年 ほたるの里

中学生議会開催

10月31日（火）辰野町役場議場で議会主催のほたるの里中学生議会が開催されました。



辰野中学校から8名、両小野中学校から2名の中学生議員が議場に集い、町に質問を行いました。

今回は新たな試みとして、中学生が議長を務めました。辰野中学校では議場からのオンライン生配信で3年生が教室で議会を傍聴しました。

中学生議会の様子をお伝えします。



辰野町長
武居 保男

ほたるの里中学生議会では、10名の中学生がそれぞれの意見等を堂々と披露してくれました。皆さんの自信を持った迫力ある語り口から、その努力を充分に感じることができ、やりとりの最後にはお礼の言葉が聞かれ、町の姿勢、考え方を理解してくれたことに安堵しました。

将来地域を担う子どもたちのため、しっかりとまちづくりに邁進していく決意を新たにしました次第であります。



辰野町議会議長
舟橋 秀仁

ほたるの里中学生議会も4年連続の開催で、すっかり恒例となりました。ひとえに両中学校の先生方や町職員の皆様のご理解、ご協力のお陰です。改めて感謝申し上げます。若者らしい視点で町を捉えており、その質も年を追うごとに向上してきています。これからも自分たちの暮らす地域は自分たちで作っていくという思いで、日々を過ごしてもらいたいと思っています。



辰野町教育長
宮澤 和徳

「町について知り、聞き、体験し、調査し、町の未来を考え提言する」を柱に据え、3年間「総合的な学習の時間」で辰野町を学んだ成果が見事に表れていました。中学生の視点で意見や要望を質問し町政に反映されることで、町政を身近に感じ、関心を持っていただく良い機会です。友だちと協力して町の魅力と課題を整理し考えた、大人では気づかない視点からの質問は、中学生から大きなエールをいただいたものと頼もしく思いました。



くぼ たあやね
久保田 絢音 議長 辰野中学校

感想 生徒会でも議長を務めています。議事でのサポートもあり、緊張はしましたが集中して議事を進めることができました。さまざまな理由から、実現するものとしのないものがある事を知りました。議会で提案することと、実現させることの大変さを感じました。中学生議員の提案が実現されると嬉しいです。

辰野町は自然豊かで、障がい者も、子供も、大人もみんな笑顔で暮らせる町でいて欲しいです。



たけい ゆうと
武井 結人 議員 辰野中学校

質問順位 1 番

**下辰野商店街へ
駐車場整備を**

問 路上駐車防止と、観光客・住民の利便性向上のため下辰野商店街に駐車場が必要では。

課長 既存の周辺駐車場を利用して欲しい。新たな駐車場整備は難しい。

感想 辰野町が観光客で賑わって欲しい、それには駐車場が必要。議会のことが分かり答弁にも満足。人前で意見発表をする自信が持てた。



こむら みお
古村 心乙 議員 辰野中学校

質問順位 2 番

**屋外広告物で町を
周知しては**

問 高速道路高架橋やパーキングエリアへ横断幕、大城山のゼロポイントヘッドバルーンなどで町を周知しては。

副町長 県条例や高速道路の規則で実現不可能。他の方法の可能性を探りたいと思う。

課長 アドバルーンは管理に問題があり難しい。

感想 議場は緊張感があり、町の事を考える責任の強さ大切さを感じた。実現は難しそうだが貴重な体験だった。



いとう あおい
伊藤 碧衣 議員 辰野中学校

質問順位 3 番

**城前線の点字ブロック
の改修を**

問 視覚障がい者にとって危険な、壊れた点字ブロックの改修が多様性の尊重につながるのでは。

町長 本年度予算で改修する。

課長 施工業者とも確認済み、交換または部分補修で対応する。今後も人に優しい歩道整備を進める。

感想 中学生の発言が町を変えられると実感した。町の事をもっと知りたくなった。



たなか ゆい
田中 優衣 議員 両小野中学校

質問順位 4 番

**公共交通サービスの
改善を**

問 小野地区では公共交通が十分でなくて不便。公共交通やサービスの改善を。

課長 地域内住民の要望を聞き、持続可能な公共交通の構築に努めたい。買い物支援については内容を今後研究していく。

感想 困っている人の助けになりたくて中学生議員になりました。どんな人にも優しい町であって欲しい。



くらすわ あずさ
倉澤 梓沙 議員 両小野中学校

質問順位 5 番

**小野旭地区の 5 差路を
さらに安全に**

問 子どもが多く通行するが、信号がなく危険。新たな安全対策を。

町長 来年度の工事でカラー舗装を行う。

課長 ソリッドシートの導入を検討したい。

感想 今回の貴重な体験から、責任ある考え方や、相手への伝え方を考えたいと思いました。



おんだ めい
恩田 芽依 議員 辰野中学校

質問順位 6 番

**水資源がわかる模型や
説明板を製作しては**

問 水に関する町の良さを伝える模型や説明板を作って、町の水の良さを発信してはどうか。

町長 蛍が発生し、安全安心な水の町だと PR するのは大切。

課長 関心を持ってもらうため、パンフレット等の作成実現へ準備をしたい。

感想 伝え方、どんな制限があるか等難しいことはあったが、町がより良くなるよう提案ができた。

ふな き たい ち
船木 太智 議員

辰野中学校

感想 修学旅行で平和とスポーツの関わりを強く感じ質問した。議会の空気感を感じられた貴重な経験だった。

質問順位 7 番

荒神山陸上競技場の整備と活用は

問 グラウンドや階段の改修で、利用増や防災拠点としての活用を見込めないか。

町長 多額の費用がかかり、利用している全団体の合意が必要。

課長 長寿化計画で、階段は何年かけて整備する。

ふくしま しゅん たろう
島島 旬太郎 議員

辰野中学校

感想 通学路からの気付きを提案した。今後もこの経験を活かし身近な気付きを発信していきたい。若い人が活躍できる町になって欲しい。

質問順位 9 番

見通しの悪い交差点の改良を

問 歩行者・自動車、双方への注意喚起ができる改良を。

課長 地元の合意形成が必要、工事の実施までに時間がかかる。関係機関に相談していきたい。

両小野中学校
生徒会担当

宮澤 林太郎先生

今回の活動を通して、生徒が質問内容を考えていく過程で、地域の課題を学年全体で見つけ出していくことができました。中学生にとっての身近な課題を、生活に一番近い町議会で提案できたことは、地域に生きる自覚や意識をより高めることにつながりました。議員の方々の丁寧な支援と、行政の方々の温かい答弁に感謝いたします。

ふくしま り こ
島島 理子 議員

辰野中学校

感想 汚水処理や再生水活用について疑問に思い質問した。できることから要望を実現させる町であってほしい。

質問順位 8 番

汚水処理の大切さを学ぶ講習会を

問 下水処理の学びや、再生水の活用について検討しては。

町長 小学生は施設を見学している。中学生には機会を設けたい。

課長 再生水の活用には多額の費用が必要。今後研究し、できるところから活用する。

ある が ひ なぎ
有賀 陽風 議員

辰野中学校

感想 緊張しましたがスムーズにできました。生徒会の委員長として今回の経験を生かしたい。辰野町の、ほたる祭りなどの「楽しい」を広く伝えたい。

質問順位 10 番

街灯を増やして明るい町に

問 明るく安心できる通学路にするために街灯を増やしては。

町長 防犯には必要だが、関係団体との検討が必要。

課長 管理負担や住民の合意形成など、地元区と相談していきたい。

辰野中学校
キャリア教育担当
河西 美香先生

3年生は総合的な学習の中で辰野町の未来を考え活動してきました。SDGsを絡めた修学旅行からの学びや、辰野町に住んでいて感じることから生徒一人一人がテーマを持ち、辰野町をより良い町にするため学習を深めてきました。調査を通して、改めて辰野町の良さを感じ、現状を学べたことは生徒たちのとても良い学習になりました。これを機に、もっと辰野町の魅力を感じてほしいと思います。



▲議場での配信の様子

オンライン配信で議会を傍聴

初めての試みとして、辰野中学は議場からのオンライン配信をし、グループ学習の代表者の様子を3年生が教室で傍聴しました。



▲教室での傍聴風景

町民と議員のタウンミーティング開催

辰野町議会では、議員が各区に出向いて多くの住民の声を聴く「町民と議員のタウンミーティング」を2019年度に開催しましたが、コロナの影響により中止していました。このたび、町議会が進めるプロジェクトとして、4年ぶりの開催となりました。今後も、地域の課題や町政への要望など意見交換をお聴きする大切な場として、全区での開催を進めてまいりますのでご理解、ご協力をお願い申し上げます。

樋口区

11月15日(水)
樋口コミュニティセンター 19名参加



◇主な懇談テーマ

- ・人口減少や役員の成り手不足などの実情
- ・農業用用水と水門の老朽化
- ・生産森林組合の今後の位置づけ
- * 全体会形式にて、地域の課題等を全議員が共有することができました。

樋口区長の感想

以前の議会報告会は役場での開催であったが、タウンミーティングは議員に出向いてもらえたのは良かった。また、議員に要望を聞いてもらえたのは良かった。

上島区

11月18日(土)
がおん伝承館 22名参加



◇主な懇談テーマ

①国道153号線整備



②横川川・小野川 河川整備、頭首工部の主砂・水田の水量確保



③北の沢の防災対策など



* 分科会形式にて、テーマごとに議員が分かれ、意見交換しました。

上島区長の感想

議会に地元の問題などの情報発信が直にでき意義があった。

中学生議会

タウンミーティング

定例会・臨時会報告

委員会レポート

議員研修レポート

一般質問

町民の声

◎タウンミーティングへのご意見・ご要望(アンケート)の抜粋

- ・双方の実績報告、要望が一方向的で、もっと課題や成果をまとめて提案し意見交換に時間をさくべき
 - ・1時間位のミーティングでは時間が若干少ないと思う
 - ・タウンミーティングは定期的に実施して頂きたい
 - ・進捗報告を望みます
 - ・町議各位と建設的な会話ができた良かった
- たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。
今後の議会活動に反映していきたいと思います。
- * 詳しいアンケートの内容は、町ホームページの辰野町議会のページからご覧いただけます。

次回の開催のお知らせ

【小横川区】

令和6年2月6日(火)
午後7時
小横川公民館

【上辰野区】

令和6年2月13日(火)
午後7時
中央コミュニティセンター

多くの方の参加を
お待ちしております。

11月臨時会・12月定例会で全議案を可決

・第7回(11月)臨時会 11月6日(月) 提案された議案は全て全会一致で可決しました。

- 令和5年度一般会計補正予算(第6号)
 - ・たつのパークホテル温水ヒーター更新工事
 - ・灯油・ガソリン等購入券交付事業
 - ・商工会の年末感謝祭負担金補正額 2,610万8千円増額

- 財産の取得について
 - ・消防小型ポンプ付積載車(第6分団)
取得金額 1,128万9千円
 - ・消防小型ポンプ付積載車(第8分団)
取得金額 1,119万7千円

・第8回(12月)定例会 11月30日(木)～12月14日(木) 18議案、1発議、1報告

令和5年度一般会計補正予算

- 一般会計補正予算(第7号)
 - ・自転車用ヘルメット購入費補助金
 - ・後期高齢者医療広域連合負担金
 - ・ホテル保護育成基金積立金
 - ・LED化改修工事、トイレ改修工事等補正額 8,935万8千円増額
- 一般会計補正予算(第8号)
 - ・低所得者世帯支援給付金補正額 1億1,321万8千円増額

令和5年度特別会計補正予算

- 上水道事業会計補正予算(第1号)
- 下水道事業会計補正予算(第2号)
- 下水道事業会計補正予算(第3号)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 町立辰野病院事業会計補正予算(第1号)
- 介護保険特別会計補正予算(第3号)

議席番号8番 樋口 博美

福祉教育委員会

町民の声を聞き、何を望み何に期待しているかを町へ届けたいと思います。安心して住める町、笑顔で暮らせる町づくりをしたい。町内の移動手段の整備・災害に強い町づくり・子どもがど真ん中の町づくりに取り組みたいです。

※令和5年4月23日執行の辰野町議会議員一般選挙について、当選の効力に関する審査申立てに対する裁決により、当選人本多慶司氏の当選が無効となったため、公職選挙法第96条の規定により令和5年12月13日に選挙会を開催し、樋口博美氏を当選人として更正決定しました。



条例審査、その他

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
▷人事院勧告に基づき、一般職の職員の給与月額、期末手当及び勤勉手当の額を改定するため。
- 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
▷健康保険証がマイナンバーカードと一体化されることに伴い、医療費特別給付金の支給に必要な健康保険加入状況等の情報を、個人番号を利用して取得できるようにするため。
- 手数料徴収条例の一部を改正する条例について
▷粗大ごみの計画収集終了に伴い、粗大ごみ処理手数料の徴収がなくなるため。
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
▷地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の改正に伴うもの。
- 財産の貸付について
▷地域活性化、地方創生、町負担経費の削減を図るため、PFIを活用して財産を株式会社goodfootへ減額して貸し付けるもの。



PFI対象先となった泉水の旧医師住宅

以上の議案は全会一致で可決しました。

議案番号	件名及び討論内容	議決
第2号	辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について 【反対】吉澤：異常な物価高のもとで、賃金は上がり、年金は引き下げられ、厳しい生活の方が多い。臨時職員会計年度任用職員の一時金が、今回は据え置かれた。 【賛成】栗林：これまで人事院勧告に準じて支給割合、支給月数を決めてきた。 向山：議員のなり手不足に対する議会の対応としてもこの議案は可決すべき。	採択 賛成 10 反対 2
第5号	辰野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 【反対】吉澤：所得に占める保険料負担割合は、国保税が高く、物価高のもとで本来なら引き下げが必要と考える。市町村独自の保険税減免制度が廃止され、県が決める保険料が強制される国保税水準の統一に反対。 【賛成】栗林：令和9年度から県内どこでも同じ所得の方の保険料負担を同じ水準にしていく負担の公平化を実現していく方針。辰野町国民健康保険税率見直し諮問委員会により慎重に審議した結果、税率等の改定案として答申されたものである。	採択 賛成 10 反対 2
第7号	辰野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例について 【反対】吉澤：上水道事業会計が黒字続きで、10億円の資本金と年間事業費用の1.5倍を超える5億7千万円の未処分利益剰余金・貯め込んだ黒字を持つ。そういう中で、今どうしても値上げしなければならないのか疑問がある。 【賛成】牛丸：料金改定のない運営では、令和7年には赤字経営になる見通しになっており、その対策としての段階的な値上げ案である。将来大幅な値上げをせずに、安心・安全な水道水を安定して供給するためには必要。 湯舟配水池▶ 	採択 賛成 10 反対 2
第16号	辰野町公の施設の指定管理者の指定について 【反対】吉澤：かやぶきの館関連施設の管理者に提案された事業者は、現指定管理者と関係があるとはいえ、宿泊業・レストラン・日帰り入浴事業などの事業経験が全くない。法人としては別の会社であり指名で管理者にすることには無理がある。指定管理料を大幅に引き上げる提案になっている。公募により管理業者を選定すべき。 【賛成】向山：かやぶきの館および周辺施設のあり方検討委員会を設置して、3施設などのあり方について検討することになっている。その為、新たな指定管理者については期間を一年間として、公募によらずに選定するという事は、議会に対して説明されてきており、議会側から異議、異論はなかったと理解している。 ◀「かやぶきの館」事業継続とした指定管理者 有限会社共和堂 「たつの未来館アラパ」▶ 公募・審査による指定管理者 シンコースポーツ株式会社  	採択 賛成 10 反対 2

【賛否が分かれた議案第2号・第5号・第7号・第16号への各議員の賛否は、以下のとおり（敬称略）】

（議案に賛成）古村、松澤、栗林、牛丸、小澤、向山、林、本田、小林、津谷

（議案に反対）吉澤、高木

討論の結果、賛成多数により全議案可決されました。

議員提出議案の審議

発議番号	件名及び提出先	審議
第1号	ガザ地区における戦闘休止及び人質の即時解放に向けた取組の継続を求める意見書の提出 〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣	採択

委員会レポート

～付託議案は全て可決～ 条例等審査

総務産業常任委員会審査報告。12月11日、12日に担当課職員の出席の下で審査を行いました。

■議案第1号 辰野町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例

▷人事院勧告に基づき、一般職の職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の額を改定する。医療職も含め平均1.1%俸給表を引き上げ、大卒初任給を11,000円、高卒初任給を12,000円引き上げる。期末・勤勉手当の年間支給月数を0.10月分引き上げる。

問 会計年度任用職員に対する考えは。

答 遡及適用しないという対応方針である。

※採決の結果、出席者全員一致で可決すべきものと決しました。

■議案第2号 辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例

▷一般職の職員との均衡を考慮し、議会議員及び特別職の期末手当の支給月数を改定する。

意見 物価高の状況下で、賃金が上がっているところばかりではない。財政状況が厳しく、水道会計のように町民の負担も増える。今年議員報酬を2.6%引き上げている。臨時職員賃金が今回上げられない。の4点を挙げ、反対

※採決の結果、賛成5・反対1となり、可決すべきものと決しました。

■議案第4号 辰野町手数料徴収条例の一部を改正する条例

▷クリーンセンター八乙女との業務委託の関係や、上伊那の他の市町村との整合性が取れないことを理由に粗大ごみの計画収集終了。

問 今後、役場等で拠点収集を行う計画は。

答 年に2回ほど、町内3か所で持ち込みによる拠点回収を計画している。(料金等は調整中)

※採決の結果、出席者全員一致で可決すべきものと決しました。



■議案第5号 辰野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

▷第一条は、国の制度改正に合わせ出産被保険者の産前産後に係る保険税の免除。第二条は、国民健康保険料水準の統一に向けて令和9年度までに資産割の廃止が求められていることによる。

問 資産割については来年度から減らすのか。

答 できれば一度に資産割を全廃したいが、急激な負担増を防ぐため今回の改正とし、令和9年までに全廃したい。

意見 一般会計からの繰入により今回の値上げは避けることができるとし、反対。

※採決の結果、賛成5・反対1となり、可決すべきものと決しました。

■議案第7号 辰野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例

▷水道事業の健全な経営を維持し、安全な水道水を安定して供給することができるように、維持管理や水道施設の更新を進めるうえで必要な財源を確保するため。計画期間を黒字で乗り切るためには、13%の値上げが必要であるが、運営審議会の委員から利用者の負担を軽減するために段階的に引き上げるべきとの声があり、7%値上げするもの。

問 水道料金はできるだけ値上げしないようにするため、設備投資も計画的に実施していくように設計するのが基本では

答 平成22年から料金改定は実施していない。その中で耐震化や更新は延ばし延ばしになっていたが、国から適切な管理を求める指導がありこれ以上延ばしきれない。

意見 現在は黒字の段階であり、財政力は積み重ねているとし、反対。

※採決の結果、賛成5・反対1となり、可決すべきものと決しました。



■議案第15号 財産の貸付

▷地域活性化、地方創生、町負担経費の削減を目的に、PFIを活用し財産を減額して貸し付ける。

意見 一定規模以上の町有財産の処分には、手続きの透明性を高めるべき。民間事業者の倒産リスクに対応する条項を契約に盛り込む必要があるのではないかと。

※採決の結果全員一致により可決すべきものと決しました。



議案第16号審査における総務産業常任委員会審査、福祉教育常任委員傍聴

■議案第16号 辰野町公の施設の指定管理者の指定
 ▷食の健康拠点施設など3施設の指定管理者には、現在の指定管理者である一般社団法人TUG BOATからグループ会社である有限会社共和堂に変更する申し出があり町はこれを受けて同社を指定。指定期間は1年とし公募はおこなわない。

問 グループ企業としてのバックアップ体制は。

答 資金面その他、グループ企業の持つ強みなどを活かしながら、イベントなどに取り組んでいる

意見 共和堂は宿泊施設運営実績がない法人である。これまでのTUG BOATの運営は、コロナということを考慮しても当初の約束と違っており対応が不十分である。指定管理料の増額の提案を受けながらその他の業者の公募なしで決めるのは住民の理解が得にくい。

意見 川島地区の拠点施設であり、有機農業の取り組みという視点からも、これからの期待感を込めたい。

これまでの議論の経過から、公募によらず1年の期限で管理者を指定することは理解できる。異議を唱えるのであれば議員側はもっと早い段階でアクションを起こすべきだった。審査を含めてルールを逸脱している状況は見られない。

▷たつの未来館の指定管理者には、公募により現在も指定管理を行っているシンコースポーツ株式会社が選定され、期間は3年間。

※採決の結果、賛成5・反対1となり、可決すべきものと決しました。

令和5年度 辰野町議会視察研修報告

視察先：千葉県八街市、千葉県安房郡鋸南町
 日程：令和5年10月18日(水)～19日(木)

〔八街市〕

協同組合が進める地域福祉事業とローカルSDGs「ソーラーシェアリング」「ユニバーサル農業」の実践について学ぶ



宮農型太陽光発電施設

〔鋸南町〕 ～辰野町の友好都市～

防災に強い町づくりの推進に向けた取り組みと、廃校利活用によるにぎわい作りの事例を学ぶ



鋸南町役場議場に

◆視察を終えて

八街市ではソーラーシェアリングを活用した農地の活用、障がい者を含め町民が生まれてから最期まで安心して暮らしていける地域づくりなど、今後、辰野町のまちづくりにおいても役立つ好事例を視察する事ができ、議会としても非常に有意義な機会を持つことができました。

鋸南町役場訪問では、台風による令和元年災害発生時の状況と、その後の復旧から防災への取り組みについての説明を受け、災害に強い地域作りへの思いを新たにするとともに、都市交流施設・道の駅「保田小学校」を鋸南町 白石町長自ら案内して頂くなど、友好都市としての親交を深めることが出来ました。

今後も町民の皆さんの安心安全で心豊かな暮らしのために、各地の先進事例を学びつつも地域にあった議会づくりを目指していきます。

向山
ひかり
議員



満蒙開拓団への 歴史認識は

町長
歴史を後世に語り継ぐ
ことが私たちの使命

満蒙開拓平和祈念館への支援を

町長 まずは、悲惨な歴史を多くの町民に知って
いただき、より深く理解していただくことが大切。

意見 記念館と連携して平和運動の糧にすべき。

板沢最終処分場、新組合長への意思表示は

町長 しっかりと時間を取って、落ち着いた状況
で町の強い意志を伝えたい。

パートナーシップ制度、夫婦別姓へも適用を

課長 ニーズが把握できていない。対象を広げる
ことや町主体の制度化は考えていない。

意見 選択的夫婦別姓は、各種世論調査で国民の
多くが支持している。法制化が進まない中で、パート
ナーシップ制度を率先して適用すべき。

困難な問題を抱える女性支援法への認識、対応は

町長 女性における社会的不平等、経済的格差に
よる生活困窮、性暴力など様々な問題が複雑化、複
合化している。孤立させない対策も含めた新たな女
性支援強化が喫緊の課題となっていた。

副町長 福祉、保健、医療、労働、住まい及び教
育に関する政策その他の関連政策の活用が図られる
ように、庁舎内のあらゆる部署が緊密に連携する必
要がある。国や県との連携、民生児童委員や人権擁
護委員、保護司などとの連携も考えていく。

豊南短期大学の運営法人変更への町の対応は

町長 日本語学校と連携した外国人留学生の受け
入れや通信制高校との連携も図りたいとのこと。豊
南短大の魅力づくりと情報発信を応援したい。地域
住民や文化に触れていただく機会の提供や地元企業
とつなぐ支援などができるのではないかな。

課長 短大側の考えを尊重しながら、できる支援
の形を考えたい。



更なる地域連携に期待、信州豊南短期大学

津谷
あきら
議員



町営住宅入居申請 の保証人を 廃止する考えは

町長
廃止した自治体例を
研究しながら検討

問 現在の町営住宅の入居申請において、保証人
に関する課題や対応は。

課長 保証人確保の相談があれば、長野県社会福
祉協議会の制度等の案内をする。課題は、保証人が
いない場合の緊急連絡先、入居者が孤独死や失踪し
た場合の諸手続きの対応など。

問 住宅弱者を守るためや、町民の住居安定に対
する今後の方針は。

課長 老朽化した公営住宅の効率的、かつ円滑な
更新を行い、町営住宅の需要に的確に対応するため
に、辰野町公営住宅等長寿化計画に基づいた住宅
政策を推進する。令和5年度は、中央団地1号棟
の屋根、外壁等の改修工事を行い、令和6年度は、
中央団地2号棟の屋根、外壁改修工事を行う予定。

改正児童福祉法に伴う特定妊婦への支援は

問 特定妊婦の支援と実施体制は。

課長 子育て応援課の母子保健係、主に2名の保
健師が対応に当る。個別の記録を作成し、関係者の
間で情報共有し必要に応じケース検討を行う。様々
な問題を抱えている場合もあり、状態の把握に努め、
関係機関、医療機関などと協力し、継続的なフォロー
をする。出産後は妊婦ではないが、状況に応じて保
健師が継続的な支援を行う。

街路灯等の設置と環境整備の推進は

問 防犯や防災を促進するための取り組みは。

課長 停電の間も一定時間点灯していることが理
想。これに対応した街路灯として、バッテリーを搭
載した太陽光発電LED街路灯を辰野中学校周
辺に8基、沢底地区に6基、計14基を国の
補助で設置。設置費用や、維持管理費用が高
額になるため、町単独
で多くの箇所に設置す
ることは困難。防災ま
た脱炭素の面でも、国
や県の支援があれば、
避難所までの避難経路
など必要な箇所に設置
することも研究する。



中学校周辺の街路灯

防災行政無線からメール・LINE 配信への遅延の原因は

町長

原因は特定され
再発防止の対応済み



うしまる よしや
議員

地域防災の現状は

問 メール・LINE 配信遅延の原因は。

課長 町のメールサーバー更新時の不備で、自動配信されずに職員により手動で配信した為の遅延。

問 各分団への連絡手段の現状は。

課長 発生直後の第一報は住民同様、防災行政無線とメールとLINE 配信。新しい仕組みを研究する。

問 自主防災組織への考えは。

課長 辰野町では現在17区全てに設置されている。

問 消防団屯所の耐震化の状況は。

課長 町内51ヶ所中26ヶ所が基準を満たしている。有利な事業を研究をしながら、財政状況・地元負担金を考慮し、改修・建て替えを検討する。



辰野町第一分団本部屯所

町内小・中学校の今後のあり方は

問 辰野町立小・中学校あり方検討委員会の方針は。

教育長 辰野町の教育のあり方、学校と地域との関わりを根本的に考えるために立ち上げた。

問 小中一貫校である両小野学園への所見は。

教育長 小中合同学園職員会で理解を深め、共通のグラウンドデザインを基に教育を維持発展させようとしている。大変良い取り組みと理解している。

問 両小野学園の今後のありは。

教育長 住民の意向を理解し「あり方」や「学び」のスタイルを新たな視点で検討していきたい。

有害鳥獣駆除の現状は

問 町内猟友会の現状は。

課長 町内7支部、84名の会員数。平均年齢は70代。高齢化に伴う会員数の減少が予想される。

問 有害鳥獣駆除数の現状は。

課長 令和4年捕獲頭数は528体。6割を鹿が占め、くくり罠、猟銃により主に捕獲している。

問 有害鳥獣駆除費を上げる考えは。

課長 駆除実績、国や県の補助額を確認しながら猟友会とも協議をし検討していく。

問 何故熊は駆除でなく放獣されるのか。

課長 県のツキノワグマ保護管理計画で個体数と捕獲頭数を管理している。駆除は必要な範囲、それ以外は放獣となっている。

火災発生時におけるメール配信に遅れが生じた

町長

ご不便をおかけし
大変申し訳ありません



きくuchi みきお
議員

メール配信については、根本的に仕組みを見直す必要があるのではないかと

課長 消防連携システムは、非常に複雑なシステムになっている。情報配信を確実なものにするために、現在連携方法の見直しをしている。

消防団員定数の見直しや分団再編成の協議の進捗状況は

課長 人口減少とともに、働き方、生活スタイルが多様化する中で、各分団とも団員確保に苦慮し、定数を満たしていない状況。引き続き情報を集めながら協議検討をしていく。

問 消防団に求められている役割を明確にし、訓練内容を見直していく必要があるのでは。

課長 常備消防が、消防団に対して何を求めているのか明らかにして、消防団が果たすべき役割を確認し、必要な体制を確立していきたい。

たつの助け隊の加入状況は

町長 12月4日時点の登録者は6名。今後この事前登録制を取りやめて、住民が自由に参加できる勉強会や、情報交換を中心とした取り組みに全面的に見直しをするよう指示をした。

問 民間組織との連携の考えは。

課長 行政区での境がなく広く活動できるので、地域防災力の底上げになると考える。

問 住民が取り組む重機オペレーターの育成等に支援の考えは。

町長 住民主体の自主的な活動は、非常に頼もしくありがたい取り組みであり、町としても連携し、何らかの支援を検討していきたいと考えている。



建設機械の操作訓練

町内宿泊施設を小中学生の宿泊行事等で利用し、町内利用者の拡大を図る考えは

教育長 修学旅行や臨海学習にとって代わるということは厳しいものがあるが、宿泊しなくても、何か体験できるという可能性は出てくる。提供できるメニューなどについて考えていかなければならない。

林 ばやし
政美 議員



町の考えを伝える
まちづくりをどう
進めるか

町長

直接対話を引き続き
行い取り組む

懇談会の開催など町民の声を聴き、町の考えを伝えるには

課長 今までも町民の声を聴き、町の考えを伝える懇談会を実施してきた。引き続き直接対話を重視した区単位の懇談会を行っていく。

問 総合計画の17区地域計画目標の取り組みを町はどのように把握しているか。

課長 第6次総合計画に基づき、区長会で取り組みの報告をお願いして把握し、課題解決に向けて区と共に町の目標である協働・共創・地域づくりに努めている。



総合計画書

辰野町農業の振興上の課題と対応策・将来の展望は

問 農業振興ビジョンの推進状況と注力する事業は。

課長 新規就農者3名増など計画を着実に実行している。特に、環境に優しい農産物の生産拡大と消費拡大を図ることに力を入れている。

問 農地の地図情報システム導入の考えは。

課長 地域計画を策定する上で必要と考えるが、今は、国の農地ナビシステムで代用したいと考えている。

問 農家の収入保険加入を助長するために町の補助金交付の考えは。

課長 収入保険加入を勧める上でも近隣市町村の状況も踏まえ検討したい。

問 物価高に苦しむ農業者への支援並びに町独自の補助施策は。

課長 これまでの支援策の成果も踏まえ検討したい。意欲ある農業の担い手の確保や育成、経営規模の拡大を支援するため、町独自の対策として農業用機械、施設に関わる補助を行っている。本年度から補助内容を充実させ運用している。

問 辰野町農業の将来展望は。

課長 農業を次世代に繋げる意義を確認し、活力ある農業・農村の構築により地域の活性化に結びつくよう努める。

栗林 くりばやし
俊彦 議員



持続可能な社会、
人口減少に関する
アンケートの答えは

町長

自治体の消滅に
危機感を強く抱いている

町長の目指す町を実現するための政策の柱は

町長 地元企業の技術や事業が後世に継承される取り組みに对应援する。地域の特性に応じて作り上げていく地域包括ケアシステムを柱に、持続可能なまちづくりを進める。新しい価値を持った世の中を町の理想像として、様々な皆さんがそれぞれ来てくれる居心地のいい空間を町の中に創る。

地元の高校・短大の魅力を高める活動は

課長 生徒・学生と地元企業・住民との交流の機会を更に広げる。地元のイベントへの参加・協力、地域住民との交流活動に積極的に取り組む。教育環境の整備促進、研修費用等の支援を行い、それぞれの魅力向上を応援する。

問 幼保小中高大の全てがある辰野町の魅力をもっとアピールするべきでは。

教育長 たつのEサミットを活かした各教育機関同士の連携推進、幼児期から青年前期までの保育・教育が町内で完結する辰野町の良さを発信する。

働く場づくりや新たな産業につながる取り組みは

課長 新たな企業の誘致。経営支援・サポート。起業支援の推進。商店街の活性化。情報発信。この5項目を商工業の振興として施策を設定し実行。

問 観光地の活性化と交流人口の拡大を図るには。

課長 観光資源の環境改善。トイレの洋式化、ベンチの設置など更なる利便性や快適性の向上。観光情報の積極的な発信、広域観光政策の推進。

辰野駅前地区の公共施設の状況、活性化は

課長 辰野駅ビル・信州フューチャーセンター・茶の間は、それぞれターゲットも活動も異なり、独立した形で運営されている。今後、駅前地区の3施設が連携し世代を超えて交流ができるエリアになるような取り組みを進めていきたい。



庁舎内におむつ替と授乳室の設置を

町長

令和6年度の設置に向け検討をしている



小林テル子 議員

看板商品創出事業「るるぶ特別編集」17,000部の配布先とその効果は

課長 町内全戸配布と、都内の移住定住に係る企画、イベント等で配布。合計15,000を配布。辰野町を知ってもらうコンテンツとしては好評。

問 事業目的とした松茸里山ツアー、薬膳料理体験プログラム、さらに、よりあい工房を活用した、6次産業化へつなげる取り組みについては。

課長 松茸里山ツアー、薬膳料理体験プログラムへの申し込みはなかった。「るるぶ」を見て「ひなたぼっこ」へ薬膳料理の予約が複数あった。よりあい工房を使つての特産品開発等には繋がってはいない。



るるぶ特別編集

食の革命プロジェクトの部会活動を繋げるために

問 各部会活動の確認と食の革命PJの進捗評価は。

課長 蔵番部会、電解水部会、あんぱ柿部会、雑穀の里PJ部会、アグロエコロジー部会5部会で特徴ある加工品、ふるさと納税返礼品等を生み出して、販路の確保もそれぞれでできている。

問 異常気象で農作物の逼迫状況が見える中、今年、有機農業の町づくり宣言をした意味は。

課長 地産地消の推進、有機農産物の生産拡大を目指して宣言。食料逼迫については言及していないが宣言の意味は大きい。

問 食の革命PJは開始から7年、部会の力を結集させ販路を広げ、6次産業化を進めるために今必要なことは。

課長 生産者の連携強化が必要と認識はしている。部会の方々の意向を確認し、連携強化の道筋を検討進めていく。

要望 当初目的に掲げた生産者商店農業者を巻き込んだ生産者同志の横の連携強化・販路の拡大の拠点「食の革命センター仮称」の設置を。

中学生議会で出された通学路への改善要望

要望 大橋通交差点、天竜川沿い道路、小野5差路、下辰野昭和橋（昨年）歩行者目線で確認したが危険度が高い。早期の改良を求める。

公共交通の利便性向上の推進は

町長

意見を受け止め公共交通体系を研究する



松澤千代子 議員

問 公共交通のニーズ調査による町民の要望の反映は。

町長 調査や座談会、地域公共交通協議会で意見交換を行い要望や採算性を検討している。

問 デマンド対象範囲外の、福祉施設への乗降場所を増設できないか。

課長 福祉施設に、デマンドタクシーの乗降場所設置の要望はあるが、上島区と唐木沢区を結び、かつ信濃川島駅の飯沼線や鉄道との連結を鑑みると、運行上の停留所設置は難しい。当町に適した公共交通の体系を研究している。意見を受け止めながら、可能な方法を研究していきたい。



坂の上の福祉施設

中学生議会その後の検討は

問 中学生議会の反響は大きく、中学生の思いを叶えるための検討状況は。

課長 町をPRするためのアドバルーンは、法や条例などにより常設は難しい。設置場所や、期間限定の設置など町単独ではなく、町民有志の団体と協力して実施することも、提案についての実現方法ではないかと考える。中学生からいただく提案は様々で、斬新なアイデアや辰野町に愛着のある考えについては、今後も大切にしていく。

道路等の緊急要請への対応は

問 緊急要請なのに何年も待たされているが。

課長 随時行っている。今年度11月までに58箇所の緊急要請の対応を行ったが、予算不足となり補正予算を上程している状況。

問 子どもを守るための通学路の環境整備は。

課長 必要な個所の対策は、ほぼ完了している。国・県道は伊那建設事務所に依頼している。

女性しごと相談室の現状は

問 相談の現状と今後の取り組みは。

課長 令和5年度は、12月現在で12名。令和4年度15名、令和3年度48名。内容は転職・求職・起業などの悩み相談となっている。相談者の気持ちに寄り添っていきたい。

小澤 睦美 議員



農業用水確保に 水揚げの重機の 使用料補助は

町長

地元との協議を行う
なかで、検討する

川島小学校統合後の跡地利活用の取り組み状況は

課長 跡地利活用の本格検討に入る前の準備委員会を川島区と設け、来年4月を目処に検討委員会を設置。具体的な検討に入る。

問 廃校利用で積極的活用を推奨している文部科学省の考え等含め、今まで直接学校教育・運営に携わってきた教育委員会の考えは。

教育長 学校施設として、他の学校と遜色ない整備をしてきた。この学校施設として整備された環境を活かし、義務教育の場としての活用は無くなくても新たな学びの場や想像の場として幅広い活用を考える必要がある。その為には、民間の活力や知恵、力を借りながらの検討も必要となる。

「育休退園」制度の見直しを

問 保護者が第二子以降の出産で育休を取った場合、出産予定月の2ヶ月前から産後6ヶ月後の月末までの期間を過ぎると、通園中の子が3歳未満児であれば、保育園は原則退園となる「育休退園」制度の見直しは出来ないか。

課長 未満児保育の需要が高いこと、待機児童など難しい課題も多いが、保育の充実のために保育士の確保に努め、現場の保育士に配慮しながら制度の見直しを前向きに考えていきたい。



町内の保育園

有機農業推進の現状は

問 現在有機農業に取り組んでいる各団体や関係機関の参加による協議会を町主導により立ち上げ、有機農業推進のまち宣言に適した取り組みを進める考えは。

課長 有機農業推進のまち宣言にあたり農業振興センター内に有機農業推進専門部会を設立し、有機農業推進の計画策定に取り組んできた経過がある。したがって今後この部会が、協議会に該当するのではないかと考えている。

高木 智香 議員



今後の保育園の 規模や配置に ついての考えは

町長

統合、複合化を
視野に入れ検討する

問 6月議会で、平出保育園移転問題について質問したが、その後の平出区への対応は。

課長 8月に平出区と懇談した。12月中に、昨年10月に区から提出された要望書に回答する。

ほっとサポートの増員と支援体制は

問 ほっとサポート（町費の支援員）の増員は。

課長 各学校からは、現状維持との要望があるが、事情があれば、必要に応じて採用を検討する。

要望 増員の必要がないか早急に再度確認を。

問 ほっとサポートへの支援体制は。

課長 積極的に教員、校長と連携をとり、支援体制を整えている。支援の専門性を高める研修については、今後の課題である。

不登校児童生徒への対応とフリースクールとの連携は

問 学びの場へ通えない不登校児童生徒への対応は。

教育長 個々の状況に応じて対応している。

つながりのない児童生徒はいない。中学生は進路の心配を持つと思うので先生と丁寧な懇談をする。

問 フリースクールとの連携は。

教育長 まずは、町内にある2つのフリースクールの取り組みを確認するために現地調査をする。

問 学校や役場以外に相談できる場は。

教育長 「町の保健室」がある。さらに周知する。

要望 相談する場を増やし、保護者を孤立させることがないようにして欲しい。



相談できる場

学童保育支援員の増員と月給制の検討は

課長 定員を超える学童もあり、これ以上利用が増えれば増員が必要。支援員は勤務時間が短く、勤務日数の変動もあるため、時給で対応する。

問 放課後等デイサービスとの連携は。

課長 児童への支援で、事業所から学べることで多くある。学童で行う研修会に講師として来ていただき、支援方法の情報共有をしてきたい。

要望 必要な家庭に、放課後等デイサービスの周知の徹底を。

環境保全活動を より持続可能な 形へ

町長

蛭が飛び交う環境の
保全に取り組む



ほんだ
みつよし
議員

問 環境保全活動の推進に対する現在の支援体制は。

課長 「協働のまちづくり支援金」で補助をしている。「寄り合い事業補助金」や、県の「地域発元気づくり支援金」でもサポートを継続していきたい。

問 地域の企業への協力も求め、循環型社会へ新たな枠組み設置を。

課長 企業版ふるさと納税は、市町村が行う地方創生の取り組みに対しての税額控除が受けられるものと認識。その財源を充てられる事業内容等、十分に研究していきたい。



里山の風景

有機農業推進への取り組みは

問 空き家の利用や既存の施設に併設するなどして農産物の直売所を設置出来ないか。またオンラインでも販路拡大の検討を。

課長 消費者と生産者双方の情報交換が出来るような環境作りが必要と考えている。オンラインでの販路拡大についても今後研究をしていきたい。

各種委員会へ、町民側からの委員の推薦は 現役世代が参加しやすい形へ

課長 他薦がふさわしくない委員会も。町民が適切に推薦できる環境を整えられた委員会については個別に検討する。また、出来るだけ多くの委員が参加できるよう日程は各委員会内で調整していく。

関係人口創出への姿勢は

問 町として関係人口創出を推進しているが、広報誌が行き渡らない、ゴミチケットが購入できないといった実態への対応は。

課長 広報誌はコンビニや町のホームページで閲覧可能。関係人口と呼ばれる方は町内会等への加入検討や、住民に情報共有やゴミ処分の協力を相談して欲しい。

問 ふるさと納税制度を応用し、関係人口が一定の納税をすることで、それに応じた住民サービスを付与するなど、段階的な準町民制度導入の検討を。

課長 他市町村の動向も見ながら今後目的と対象を研究していく必要がある。

物価高騰対策 追加支援は

町長

検討し提案する



よしざわ
みつお
議員

問 町民に公平な支援を要望し、実施されたばかり商品券の利用状況と評価は。

町長 初めての取り組みだが12月1日現在50%利用され、ありがたいという声を多く頂いている。

要望 共産党町議員団は追加支援として全世帯に5,000円の燃料券配布などを要望したが、国の交付金に独自財源も加えて実施して欲しい。

デマンドタクシー改善を

問 通院時の家族介助利用を認め、家族割引を。利便性が増し、タクシー経営との両立が期待できる「タクシー料金補助制度」の検討を。

課長 例外的な対応は難しい。箕輪町などの方式は、経過を見て検討はしたい。

火の見やぐら解体費用の負担は

問 1基30～60万円と言われる解体費用。現在、町は2割補助だが、箕輪町は9月から全額町負担に。町も地元負担の大幅軽減を。

町長 現在47基ある。区財政が厳しい事は承知しているので、消防委員会に図りながら、来年度から地元負担を軽減する。



老朽化した火の見櫓

大城山ほたるイルミネーションの整備は

問 施設と管理の経過・概要は。光が見えにくくなっているが、7年前のように藪の手入れが必要では。現地は急斜面で大変な作業だが、藪を整理しても防災や山林機能にほぼ支障ないと思う。

課長 第50回ほたる祭りを記念して地元企業が設置・管理し、町も協力している。500個のLED電球で電気料は年9000円ほど。以前協力いただいた住民グループにお願いし、3月を目途に低木の伐採作業をしたい。

町政課題検討委員会のすすめ方は

問 「かやぶきの館あり方検討委員会」など公開されていない委員会があるが、原則公開し会議録の公表を。住民の意見を随時受付け、審議に反映を。

副町長 情報公開条例に基づき公開できる会議は公開する。遅れているが会議録は作成し公表する。

議員が町に出て
聞きました

町民の声



これからも
みんなの声を
聞きにいくよ

辰野町イメージキャラクター
ぴっかりちゃん

テーマ 辰年の辰野町、町や議会にチャレンジして欲しいことは

2024年は60年に一度の甲辰（きのえたつ）です。

「甲」は陰陽五行説では草木の成長を意味し、植物が成長するよう勢いを増す、の意味があります。

「辰（竜）」は干支の中で唯一の架空の動物、中国文化では神聖・強力な存在で縁起が良いとされています。「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンスの年とされています。

全国の市町村名で唯一「辰」の字が含まれる辰野町。辰年の辰野町をPRするロゴマークを制作し、町民の積極的で自由な活用を推し進めています。

そんな縁起の良い勢いのある「甲辰」に町民の皆さんが、町や議会にチャレンジして欲しいことを、議員が町に出て聞きました。



小林 重泰さん(下辰野)

明るく人に優しい町づくり、例えば、高齢者などが電動シニアカートで安心して外出できる歩道等の整備を期待します。頑張っている町内事業者への積極的支援も望みます。町民の将来負担軽減のために、公共施設のメンテナンスは計画的長期対応が必要と思います。



石崎 奈穂美さん(沢底)

たつの海の周辺に茶屋のようなくつろげる場所があると良いと思います。ウォーキングをされる方や、遊具で遊ぶ子ども達まで、幅広い世代の皆さんが集う、たつの海を中心に荒神山全体を整備し、通年で楽しめる憩いの場となるような取り組みをしてほしいと思います。



園田 弘子さん(上辰野)

鳥獣被害や肥料高騰で、農業から離れる人が増えないように、また、新しく農業したい人が始めやすいように、現在個人負担となっている鳥獣対策への補助や、化学肥料を使わない農業の推進に力を入れる辰野町になってほしいです。



増永 豪さん(新町)

辰野町で建築・インテリアの設計事務所をはじめて10年が過ぎました。

町にはぜひ若い世代向けの支援のさらなる拡充をお願いしたいです。若い世代の未来が明るいものだと思うよう、大胆な政策を考えて実行してほしいと思います。

次回定例会のご案内 3月定例会予定

開 会	2/29(木)
一 般 質 問	3/ 7(木)・8(金)
委員会審査	3/11(月)～13(水)
閉 会	3/18(月)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

令和6年能登半島地震においてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。

辰野町議会議員一同

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。